

■天皇皇后両陛下秋田県行幸啓

■戦後74年全国戦没者追悼式



月刊チャップリン

2019年(令和1年)

10月15日

第34巻4通巻211号

昭和62年5月22日第三種郵便物認可

¥200 1・4・7・10月 15日発行

発行人 株式会社アムス 〒173-0027東京都板橋区南町62-7スカイコートK. 1階

令和 天皇皇后両陛下 秋田県行幸啓 全国豊かな海づくりご臨場



第39回全国豊かな海づくり大会あきた大会の式典行事にご臨席になる天皇皇后両陛下

天皇、皇后両陛下は九月七日から八日の二日間の日程で秋田県行幸啓の為、秋田市開催の「第39回全国豊かな海づくり大会」へのご臨場、併せて地方事情ご視察により訪問された。全国豊かな海づくり大会は、全国植樹祭、国民体育大会と並び三大行幸啓の一つ。新両陛下はこれに皇

太子夫妻時代に取り組んできた国民文化祭も加わり四大行幸啓となる。

両陛下のご即位を記念した今大会のテーマは「海づくりつながる未来豊かな地域」。

海づくり大会とは、水産資源の保護・管理と海や湖沼・河

川の環境保全の大切さを広く国民に

訴えるとともに、つくり育てる漁業

の推進を通じて、明日のわが国漁業の振興と発展をはかることを目的として、昭和56年に第1回が大阪府で開催されて以来、毎年各地で開催されている。第39回

の海づくり大会式典会場となった秋田県立武道館は、秋田の新しいスポーツゾーンとして秋田市に建設された。県民が親しみやすく、「開かれた武道館」をキーワードに、木材建築のモチーフをふんだんに取り入れ、太陽熱や自然光を取り入れるなど自然エネルギーを積極的に活用し、暖かい空間を作り上げている。

今年5月のご即位後、初めての海づくり大会にご臨場された天皇・皇后両陛下は歓迎レセプション、式典行事などに参加された。式典行事では、天皇陛下は「豊かな海の環境を保全するとともに、水産



資源を保護・管理し、海の恵みと美しさを次世代に引き継いでいくことは、私たちに課せられた大切な使命であると考える。――(一部抜粋)とおことばを述べられた。その他、各表彰や最優秀賞の小学生の朗読発表に続き、両陛下から漁業関係者へハタハタ、サクラマス、エゾアワビ、ワカメの稚魚等がお手渡しされた。天皇・皇后両陛下は、台風15号の影響を受け、式典後の放流・歓迎行事へのご臨席は取りやめた。



今年5月のご即位後、初めての海づくり大会にご臨場された天皇・皇后両陛下は歓迎レセプション、式典行事などに参加された。式典行事では、天皇陛下は「豊かな海の環境を保全するとともに、水産



海づくり大会 歓迎レセプション

天皇・皇后両陛下は7日午前中、羽田発の特別機で秋田県に入られ



た。秋田空港到着後、市内の県林業研究研修センターと市内の県動物愛護センターを視察された。夕方から海づくり大会の歓迎レセプションにご臨席になられた。会場は、秋田キャッスルホテルで開催され、レセプションご臨席の前に海づくり大会作品コンクール優秀作品をご覧になられた。



東日本パイロット協会



災害ボランティア フાયヤー・レスキュー・チーム

〒989-4504

宮城県栗原市蒲町小深沢232-1 電話 0228-36-2717



羽ばたけ東北

終戦から74年 令和最初の戦没者追悼式



天皇陛下追悼の意「深い反省」 終戦から74年

終戦から74年の8月15日、日本武道館にて政府主催の全国戦没者追悼式が行なわれ、即位後初めて戦後生まれの天皇陛下は皇后さまと参列し「本日、戦没者を追悼し平和を祈念する日、に当たり、全国戦没者追悼式に臨み、さきの大戦において、かけがえのない命を失った数多くの人々とその遺族を思い、深い悲しみを新たにいたします。終戦以来74年、人々のたゆみない努力により、今日の我が国の平和と繁栄が築き上げられました。誠、誠に感慨深いものがあります。戦後の長きにわたる平和な歳月に思いを致しつつ、ここに過去を顧み、

深い反省の上に立って、再び戦争の惨禍が繰り返されぬことを切に願い、戦陣に散り戦禍に倒れた人々に対し、全国民と共に、心から追悼の意を表し、世界の平和と我が国の一層の発展を祈ります。」とお言葉をのべられました。



天皇、皇后両陛下や安倍晋三首相、戦没者遺族ら約七千人が参列した。上皇さまが追悼式で使われた「深い反省」などの表現を踏襲し、令和時代の平和を祈念された。国歌斉唱の後、安倍首相が式辞で「私たちが享受している平和と繁栄は、戦没者の皆様の尊い犠牲の上に築かれたものであることを決して忘れない。戦争の惨禍を二度と繰り返さない。この誓いは昭和、平成、そして令和の時代でも決して変わることはない」と哀悼の意を表明した。宮内庁によりますと、上皇ご夫婦は住まいの皇居・吹上仙洞御所で式典の様子をテレビで見守り、黙とうした。



特定非営利活動法人 社会生活促進援護会

山梨県笛吹市一宮町南野呂394番地1号
電話 0553-47-2236